

社長の経営哲学の構築にお役立ちする

税理士法人 優和

TEL 03-3455-6666
FAX 03-3455-7777

経営者への活きた言葉

経営者への活きた言葉

イノベーションは肩肘を張らず、別の方法で、異分野で起こせる

田中 耕一（島津製作所シニアフェロー、2002 年ノーベル化学賞受賞）

1. イノベーションは「技術革新」と訳されたためか、今までと全く違ったことをやらなければいけない、と思いがちです。しかし、私はそんな難しく考えなくてもいいんじゃないかと思っています。今までにあった古い知識や技術でも、新しい捉え方ができればイノベーションにつながるはず。これまで蓄えてきた知見を生かせばいいのに、レガシー（古い遺産）は足かせになるから捨て去るべき、という先入観こそが良くありません。
2. 文系、理系を問わず様々なバックグラウンドを持つ人たちが率直に意見を交換できれば、凡人や素人であってもイノベーションは起こせます。重要なのは、様々な視点を持った人たちによる「異分野融合」です。イノベーションを起こすために、新しく特別な場所を設ける必要があるのでしょうか。特別な場所ではなく、気張らずに意見交換できる場所がいいのです。
3. 革新的なイノベーションを起こすんだと肩肘を張らず、今手元にあるものを別の方法で展開してみる、あるいは課題を変えてみる、新しい分野に行ってみる。そんなことを考えれば、今まで何をやってたんだと思えるような成果が出てくると思います。
(参考:「日経ビジネス」2018 年 7 月 23 日号)

新規成長分野

今後注目を集める宿坊ビジネス

1. 民泊の救世主になりそうなのが宿坊だ。時期と部屋にもよるが、和歌山県の高野山では 1 泊 1 万～3 万円。部屋にはエアコンやテレビがあり、朝の勤行に参加できるなどの特典も付いていて、訪日外国人から「日本らしい体験ができる」と人気を集めているのだ。「寺による宿坊参入は今後増えていく」と業界関係者は言う。
2. 宿坊ができれば、写経体験などの有償サービスも広がり、「一般の人に教えを広めたい」という僧侶の気概もあって、こちらも増えるのは時間の問題といわれる。宿坊がビジネスとしてますます注目を集める。

(参考:「週刊ダイヤモンド」: 2018 年 8 月 4 日号)

ワンポイント経営アドバイス

生涯の生活の安定がキーワード

坂本 幸雄（元エルピーダメモリー社長）

1. 「ものづくり」に携わる経営陣に求められる力について一言で言えば、それは「斬新で柔軟な発想力」だ。IT の進化で短いサイクルのイノベーションが求められ、世の中の動きが分かり知識が豊富にある、というレベルの経営陣では通用しない。世の中の変化を先読みし、業界がどんな影響を受けるのか、自社が何をすれば顧客を満足させられるのか、世の中に驚きを与えられるか、というビジョンを持ち続けることが必要だ。
2. 将来の経営陣候補にこうしたビジョンを持たせるために重要なことは、短期的な研修でも働き方改革でもない。実は、成果に対する正当な評価を基にした「生涯の生活の安定」こそがキーワードだ。

(参考:「We d g e」2018 年 9 月号)

古典に学ぶ

小事を粗末にしてはいけない

(解説) 時計の小さな針や、小さな輪が怠けて働かなかつたら、大きな針が止まらなければならぬように、何百万円の銀行でも、厘銭の計算が違っていると、その日の帳尻がつかぬものだ。小事を粗末にするような粗大な人では、所詮大事を成功させることはできない。

(参考: 渋沢栄一「論語と算盤」: 国書刊行会)